

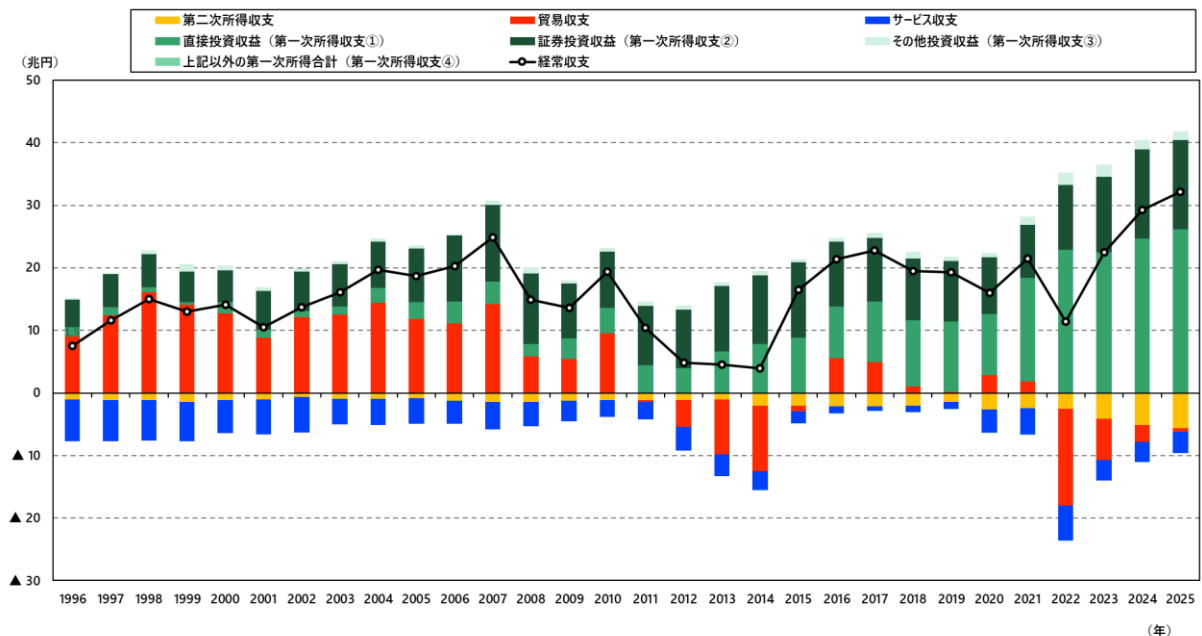
## 第2節 対外直接投資

第1節では日本の経常収支の動向について貿易収支・サービス収支、第一次所得収支の全体動向を整理してきた。本節では、日本の経常収支を構成する第一次所得収支のうち直接投資収益及び残高の動向について整理する。

### 1. 直接投資収益の動向

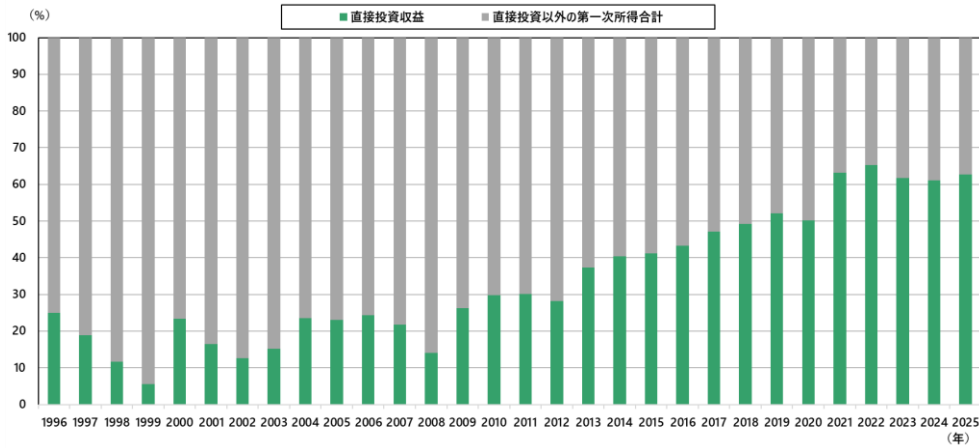
日本の第一次所得における直接投資収益について整理する。第1節でも述べたが、第一次所得の黒字幅拡大を背景として、2025年の経常収支は1996年以降最大の黒字幅となった。そして、第一次所得収支の黒字幅拡大の背景には直接投資収益が1996年以降最大の黒字幅となったことも寄与している（第2-2-2-1図）。また、第一次所得収支に占める直接投資収益の割合は2008年以降、増加傾向にある（第2-2-2-2図）。そして、直接投資収益のうち約半分は配当金及び配分済支店収益という構成になっている（第2-2-2-3図）。

第2-2-2-1図 経常収支の推移



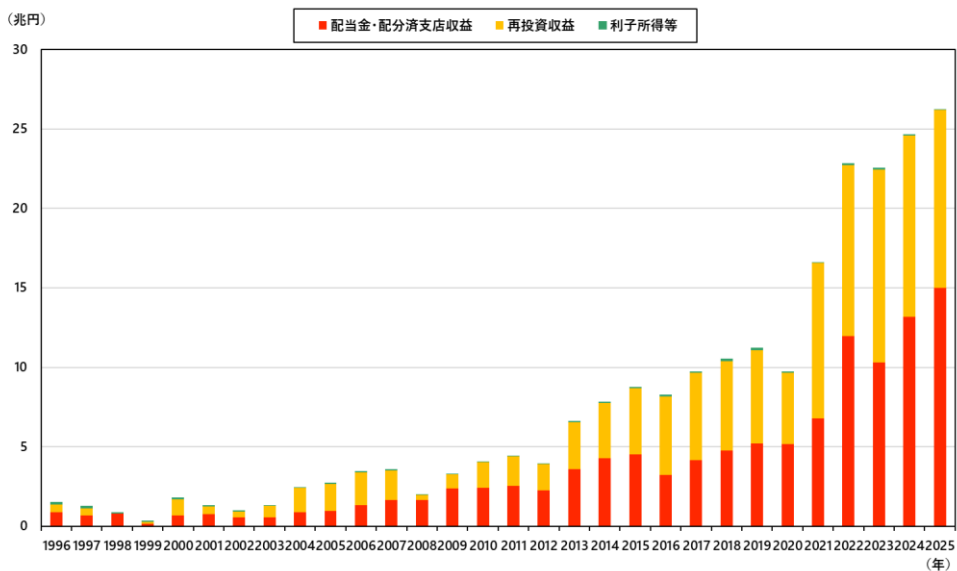
資料：財務省・日本銀行「国際収支統計」から作成。

第2-2-2-2 図 第一次所得収支に占める直接投資収益の割合の推移



資料：財務省・日本銀行「国際収支統計」から作成。

第2-2-2-3 図 日本の直接投資収益の構成

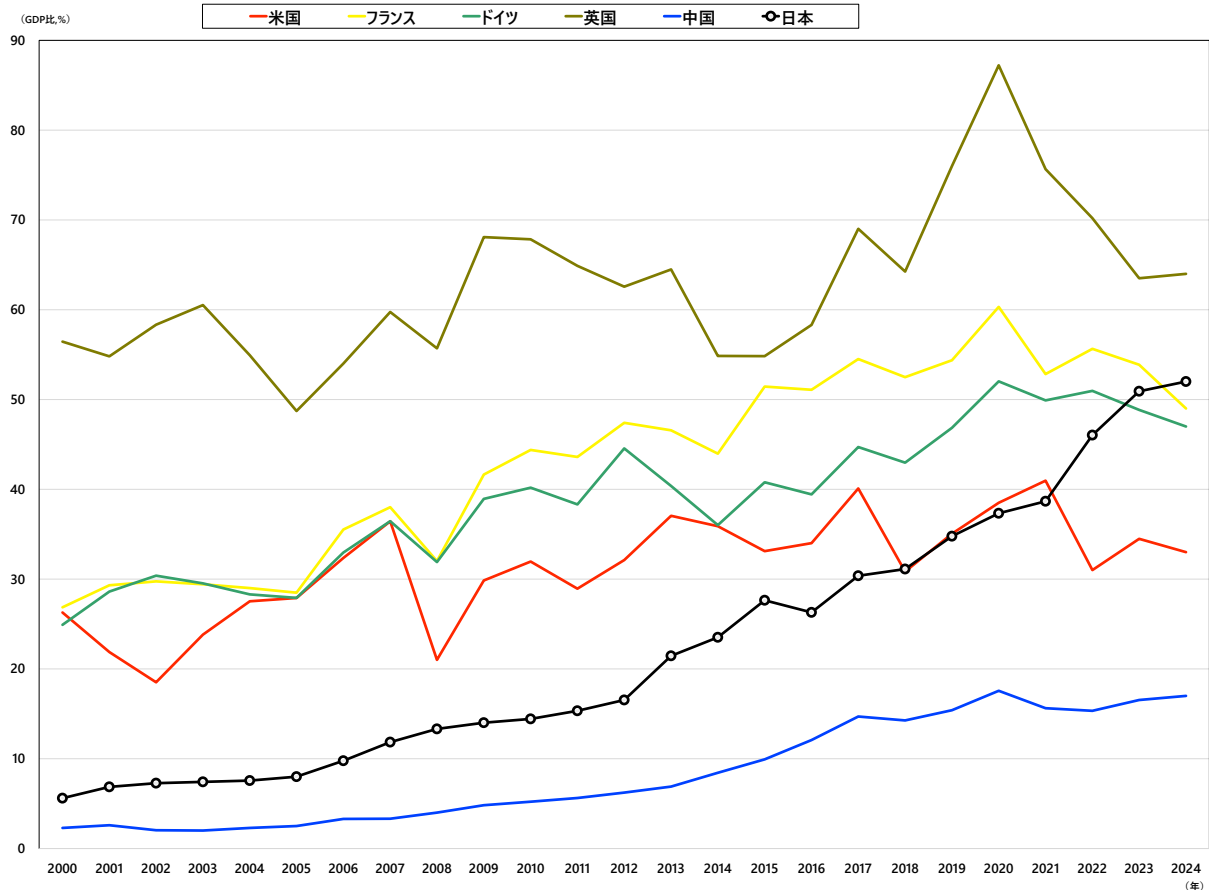


資料：財務省・日本銀行「国際収支統計」から作成。

## 2. 対外直接投資残高

第2-2-2-4 図は対外直接投資残高の動向の国際比較を示している。第2-2-2-4 図によれば、日本の増加傾向が見て取れる。

第2-2-2-4 図 対外直接投資残高の国際比較



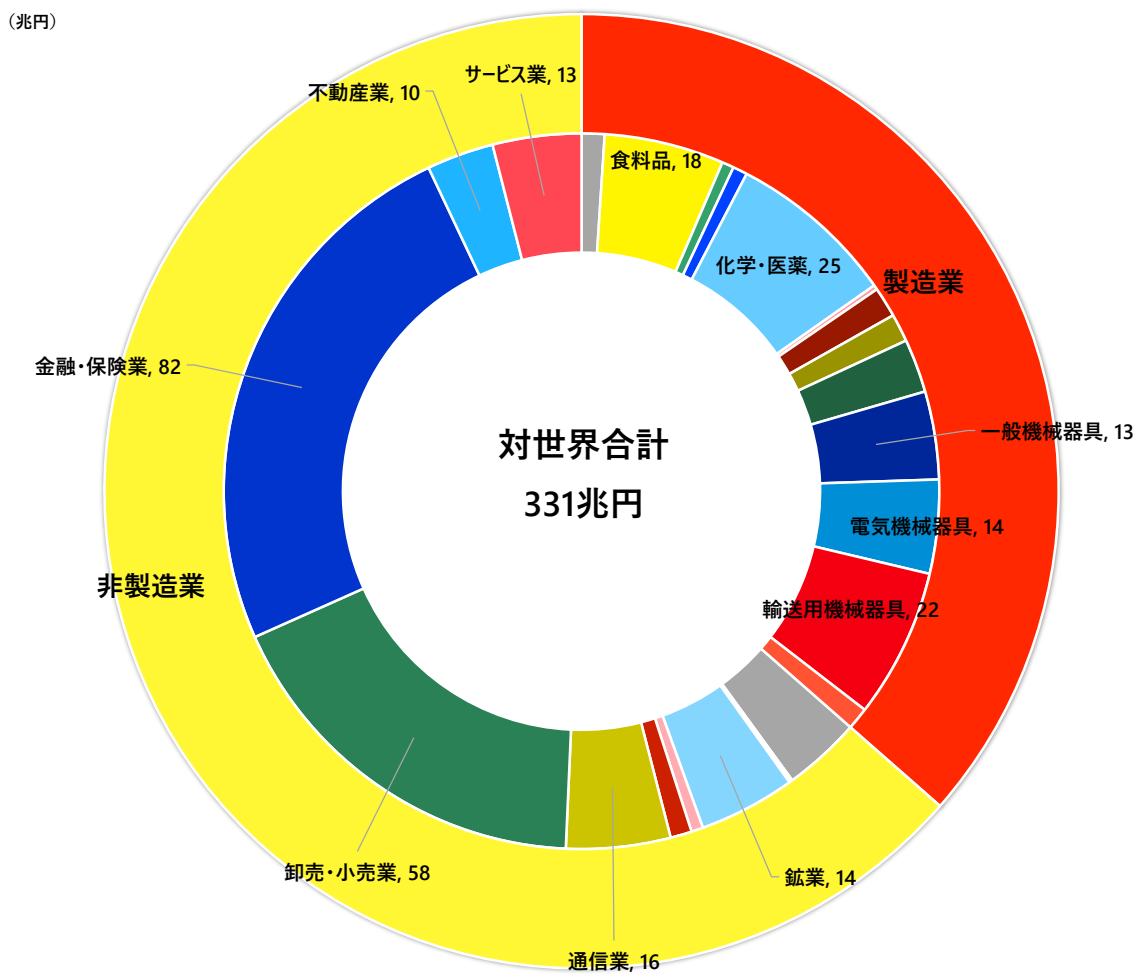
資料：IMF から作成。

最後に、対外直接投資残高について業種別、相手国・地域別に動向を整理する。

最新の2024年の対外直接投資残高は約331兆円となった（第2-2-2-5図）。このうち、製造業が約121兆円、非製造業は約210兆円であり、非製造業が製造業を上回っている。非製造業の業種別構成を見ると、金融・保険業及び卸売・小売業の割合が大きい。製造業の業種別構成については、化学・医薬、輸送用機械器具の順で割合が大きい。

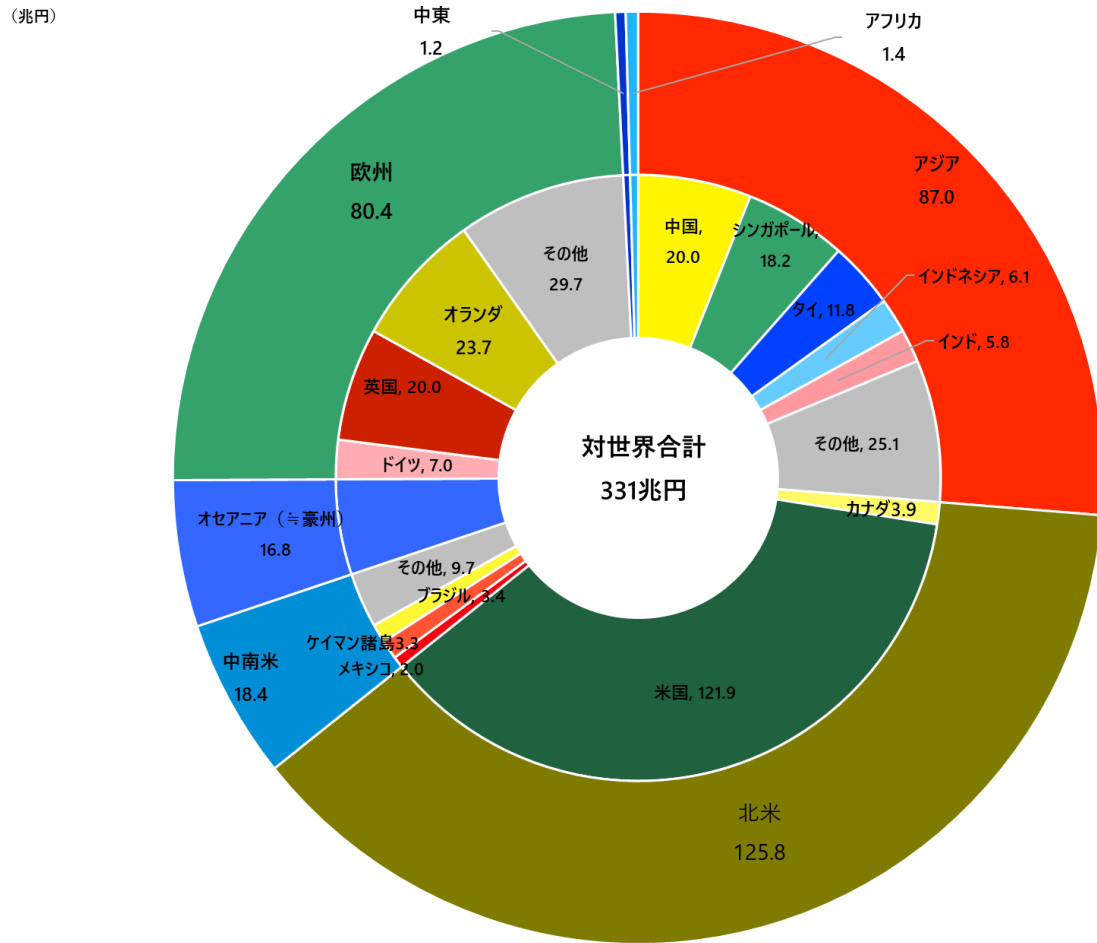
相手国・地域別の対外直接投資残高については、最新の2024年では全体の約331兆円のうち、約125.8兆円が北米での残高となっており、続いてアジア、欧州の順に対外直接投資残高が大きくなっている（第2-2-2-6図）。

第2-2-2-5 図 業種別の対外直接投資残高の構成（2024年）



資料：財務省・日本銀行「対外直接投資残高（地域別・業種別）」から作成。

第2-2-2-6 図 相手国・地域別の対外直接投資残高の構成（2024年）



資料：財務省・日本銀行「対外直接投資残高（地域別・業種別）」から作成。